

主要科目の特長・科目ごとの目標等

○看護学部

・看護学科

「仏教学Ⅰ」

駒沢女子大学の建学の精神である「行学一如」、建学の精神のもととなる仏教の開祖「釈尊」の生涯と教え、「道元禅師」の生涯と教えについて学びます。また、道元禅師が著した『典座教訓』等を通して、禅の教えが我々の生活にどのようにかかわっているのか学ぶとともに、実際に坐禅を行い、日常の礼儀作法について学びます。さらには、仏教行事の意義や本学で学ぶことの意義についても学びます。本科目での学びを通して、今後の人生の指針となる教養を身につけるとともに仏教という観点から人間を理解する契機とすることを目指しています。

「地域・在宅看護学概論」

地域で生活する人々とその家族の健康と暮らしを支援するために、生活の基盤である地域を理解し、生活を支えるための保健、医療、福祉制度と活用方法について学びます。また、地域で生活する人々を支えるための看護の基礎的知識について学びを深めます。

「地域ふれあい実習」

地域で暮らす人々とその生活の様子を、実際に人々とふれあう体験を通して学びます。本学が位置する稲城市が提供する様々な地域住民サービスの場に出かけ、参加し、人々の生活の様子を見聞することで、参加している人たちにとってその活動が持つ意味を考えます。また、地域の人々同士のふれあいの過程を理解し、日々地域で暮らす人々から看護職に求められる役割について考えます。

「基礎看護方法Ⅰ（生活行動の援助技術）」

対象の状態・状況にあった生活行動の援助を実施できるようにするために、各々の生活行動援助技術についての概念、技術を適用するさいの基礎的・基本的な知識、その知識を活用した援助方法について学びます。具体的には、各々の看護技術を実施するための原理・原則、安全性・安楽性・自立性を理解し、対象の状態・状況にあった援助を考え、実施し、評価することを学びます。

「基礎看護学実習Ⅰ」

臨地実習として医療現場に出向き、病院の概要や特徴、病院における看護の役割を学びます。対象者とのコミュニケーションや観察から、対象者の様子や療養生活の実際を知り、

看護援助を看護師と共に一部体験します。また、看護学生として倫理的態度を養う機会とします。

「多職種連携論」

保健・医療・福祉分野における専門職の連携と協働について理解し、専門職としての役割や責務を学びます。また、対象となる人へ質の高いケアを提供するために、異なった専門的背景をもつ専門職が、共有した目標に向けて共に協働することの重要性を学びます。さらに、非専門職者との連携や協働の意義、方法について学び、地域包括ケアにおける重要性について考えます。